

このまま消えないでくれ。

今度は愛妻家

a good husband

もう1人で暮らせるね？

豊川悦司 薬師丸ひろ子
水川あさみ 濱田 岳 / 城田 優 津田寛治 奥貫 薫 井川 遥 / 石橋蓮司

監督：行定 勲

原作：中谷まゆみ 脚本：伊藤ちひろ

主題歌：井上陽水「赤い目のクラウン」(フォーファイブミュージックエンタテインメント)

製作：「今度は愛妻家」製作委員会/東映 水卜正樹店 テレビ東京 アミューズソフトエンタテインメント 電通 東映ビデオ バルコ 朝花新聞 ウエスト テレビ大阪
△ 東映 △ 制作プロダクション・セントラル・アーツ 配給：東映 ©2010年 株式会社東映

www.kondoha-aisaika.com 2010.1.16 roadshow

夫婦には「さよなら」の前に、やらなければならないことがある。



豊川悦司×薬師丸ひろ子×行定勲監督が贈る この冬もっとも切ない大人のラブファンタジー。

あなたは、日々散りばめられる言葉や表情の「本当の大切さ」に気づく——。

愛情を上手く伝えられない夫と、明るくて気立てのやさしい妻。結婚10年目にしてある局面を迎えた夫婦の愛情を、時にコミカルなテイストを交えて、胸を締め付けるような切なさや心あたたまる感動を共に描いた『今度は愛妻家』。ヒット作、話題作を連打する映画監督・行定勲が、豊川悦司、薬師丸ひろ子という日本映画界の実力派を迎え、〈女性は共感、男性は反省〉する、この冬一番の大人のためのエンターテインメントだ。

かつては売れっ子カメラマンとして名も実力もあったが、今はロクに仕事もせずにごうたらな毎日を送っている北見俊介（豊川悦司）。女性に甘く、気ままに生きる典型的な駄目亭主だ。大の健康マニアの妻さくら（薬師丸ひろ子）は、そんな夫に文句を言いながらも何くれとなく世話をやいている。クリスマス直前に、半ば強引に連れていかれた子作りのための沖縄旅行から1年後。相変わらず、だらけた毎日を通過ごす俊介は、なぜか一枚も写真を撮ることができない。

ある日、いつものように軽口をたたく俊介に、「子供を作る気がないなら、別れて」と悲しげな表情で告げるさくら。以前とは

微妙に違うさくらの態度に、俊介は平静を装いながらも胸がざわめく。喧嘩が絶えなかったけれど、穏やかで楽しかった夫婦生活が、どこでどうくるってしまったのか…？ 取り戻せない時間の中、俊介はさくらに初めて自分の思いを口にする…。

豊川と薬師丸の息の合った抜群のコンビネーションに加えて、水川あさみ、濱田岳の若手実力派コンビ、そして日本映画界の重鎮・石橋蓮司が奏でるアンサンブルは見応えがある。主題歌は井上陽水。今作をイメージして作った新曲「赤い目のクラウン」が感動のラストを引き立てる。

失ってから初めて気づく、いつも当たり前のものとして受け取っている日常のささやかな幸せ——。観終わった後は、愛する人や愛してくれる人が隣にいることの幸せを、しみじみとかみしめたくなる。そんな普遍的なテーマをやさしいタッチで描いた『今度は愛妻家』は、文字通り笑った後に心の底から涙があふれ出す。

深い余韻とさわやかな感動が胸に残る珠玉のラブストーリーである。



2010.1.16 roadshow